

| | | | |
|-------|--------|------|--------------|
| 3類型 | 鉦工業品 | 通巻番号 | 2 - 21 - 010 |
| 地域資源名 | 漬物 | 認定日 | 平成21年10月27日 |
| 地域 | 山形県鶴岡市 | 所管省庁 | 農林水産省、経済産業省 |

事業名：庄内地場産の新鮮野菜漬物の商品開発・販路開拓

会社名：帯谷食品株式会社

所在地：山形県鶴岡市茨新田字砂山440番地

連絡先：TEL：0235 - 76 - 2305

事業概要(新たな活用の視点)

- ・山形県庄内地域は、約50種類の野菜が栽培され、在来野菜は60種類あるといわれている他、「東の山形、西の京都」と称される漬物の産地である。
- ・本事業では、野菜出荷時に未利用となる部分や規格外品を活用し、当社が培ってきた漬物製造技術により、野菜の食感を残した漬物を製造・販売する。
- ・従来、漬物商品はビニール袋詰め売り場に並ぶが、今回は縦型透明カップとして差別化を図り、サラダスティックのようなイメージを演出する。



従来の商品

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・庄内地域で栽培された野菜のみを使用、「電解次亜水」での洗浄により保存料を使用しないなど、安全・安心な加工品の開発が可能。
- ・野菜の食感を残したまま漬けることのできる「振動漬け」や地元で生産される果物酢の使用など、類似製品との差別化が図られている。

市場性

- ・漬物の国内生産量は減少傾向にあるものの、酢調整野菜(酢漬け)については国内生産量・輸入量ともに増加傾向にある。近年は食品に対する安全・安心のニーズは大きく、十分な市場が見込める。

販路

- ・当社の既存ルートである首都圏生協の他に、通信販売、地元お土産店、百貨店、居酒屋などの外食等、多岐にわたるチャンネルでの販売を目指す。



軟白ねぎ



縦型透明カップ商品イメージ

地域資源における関係事業者との連携

- ・野菜の生産は地元のJAに依頼し、積極的に規格外品等を活用する。農業者にも貢献できるように、全量買い取りを目標にする。